



2020年4月28日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野村 博
 (コード: 4506 東証第1部)
 問合せ先 執行役員
 コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子
 (大阪: TEL. 06-6203-1407)
 (東京: TEL. 03-5159-3300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2020年1月30日に公表した2020年3月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	475,000	64,000	75,000	26,000	31,000	78.03
今回修正予想(B)	482,700	72,000	83,200	35,900	40,800	102.69
増減額(B-A)	7,700	8,000	8,200	9,900	9,800	-
増減率(%)	1.6	12.5	10.9	38.1	31.6	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	459,267	77,299	57,884	48,627	48,627	122.39

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

2. 修正の理由

売上収益は、北米セグメントおよび日本セグメントで好調に推移した結果、前回発表予想から77億円増の4,827億円を見込んでいます。

コア営業利益は、コアベースの販売費及び一般管理費、研究開発費は減少する見込みであることから、前回発表予想から80億円増の720億円を、営業利益は、米国においてCOPD治療剤「ロンハラ マグネア」の事業計画の見直しにより減損損失を計上する見込みである一方、これに伴い条件付対価公正価値の変動額の戻入を計上する見込みであることなどから前回発表予想から82億円増の832億円を見込んでいます。

当期利益は、為替差損を計上する見込みである一方、米国において法人所得税が減少する見込みであることから、前回発表予想から99億円増の359億円を、親会社の所有者に帰属する当期利益は、前

回発表予想から 98 億円増の 408 億円を見込んでいます。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上